

# 圓頓寺 たより

発行所  
山鹿市山鹿55  
圓頓寺  
☎43-2424

第三十四世

## 順境院 日撮

合掌。早いもので、本年もお盆の時節になりました。檀信徒の皆様方におかれましては、益々御清祥の段、お慶び申し上げます。わたくし住職も、寺院興隆を第一の旨とし、日々法務に精励しております。今年の下



除夜の鐘の祈禱をする住職

半期も、菩提寺運営に對して、変わらぬご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、本たよりが、お盆号ということですので、お盆についてのお話を述べたいと思います。

お盆というものは、古来より綿々と続く仏教行事であります。日本への仏教傳來より、七月（明治以降は所により八月）は、先祖供養の神聖な期間とされ、お墓参りはもちろんのこと、各家に廻る棚経回向の僧侶への供養、菩提寺での施餓鬼法要への参詣等を通して、善根を積み、その功德を以つ

て、先祖及び一切衆生の聖靈をも、偲び祀る事が古くからの日本人としての習いとなつていきます。

この、お盆の行事の由縁は、お釈迦様の十代弟子の一人である目連尊者の故事が元になっております。

目連尊者は、神通第一とされ、種々の不思議な力をもちました。ある時、自分の優しかった亡き母が、死後の世界にてどのような境遇におられるのかを、自慢の神力を用いて確かめられました。あろうことか、母は餓鬼界に堕ちていました。悲しんだ目連尊者は、神通力を使い救おうとしました。飢えた母の口に食べ物を与えると、寸でのごとくで燃え上がり食す事ができず、乾いた口に飲み物を捧げると、これも熱湯とな

り涼味を届けることも叶わない。泣く泣く目連尊者は、お釈迦様に助けを求められました。

お釈迦様曰く、慳貪（むさぼり）の科にて、餓鬼界に堕ちた者を救う為には、雨季の安居（修行）明けの大勢の僧侶を供養しなければならぬ。そこで、目連尊者は教えに従い実践することにより、愛する母親を救う事が出来たのです。

この故事が元となり、日本でも、仏様を敬い、僧侶を供養することによって生じる功德を以つて、亡きご先祖に安樂を与える仏事として、お盆があるわけでありませう。

また、この故事の大切な教えとは、日々の慳貪（むさぼり）の心を戒めて、多くの生きとし生けるものに

施しの気持ちを持ち、施し  
を実践する事が大切である  
というところですよ。

つまり、施しの精神を大  
切にして、ご先祖並びに一  
切衆生の命の分まで、正し  
く生活を営む事が肝要なの  
です。是非、お盆の期間に  
は、この心を思い起こし自  
覚する事が、ご先祖への真  
の孝養となるわけでありま  
す。

「願わくはこの功德を以  
て普く一切に及ぼし我等  
と衆生と皆共に仏道を成  
ぜん」

法華経の一節です。自他  
共の命を大切にし、慳貪  
(むさぼり)の心を捨て、  
施しの心を涵養していくと  
いう、お盆の仏事の精神を  
成していく事が、自他の成  
仏の近道なのです。

### 法華経と御遺文の学習



新年祝禱会の住職

「諸法の実相は、いわゆ  
る、諸法の如是相、如是  
性、如是体、如是力、如  
是作、如是因、如是縁、  
如是果、如是報、如是本  
未究竟等なり」  
『妙法蓮華経方便品第二』

方便品の一節です。大変  
重要な教えを示された箇所  
です。普段、お経を拝読さ  
れる方々であれば、よく知っ  
ておられるところになりま  
す。大事な部分であります  
ので、読誦する時には、三  
遍繰り返します。

何故に大事であるのか。  
それは、「十如是」という  
真理により、「諸法実相」  
という大切な法門を説かれ  
ているからなのです。

「十如是」とは何か。全  
ての物事の真実の有様は、  
「相・性・体・力・作・因・  
縁・果・報・本未究竟等」  
という十の条件を必ず具え  
存在する。何であれ、およ  
そ世の中の、ありとあらゆる  
物事は、この十の条件を

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

# 横手会館

# 横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

## 割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

必ず具えていなければ存在しないという教えでありま

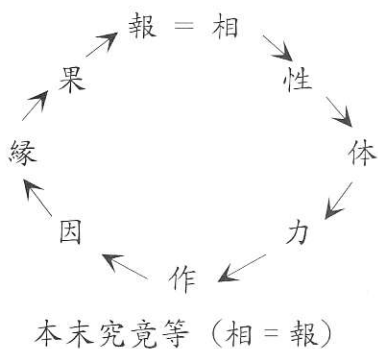
す。「諸法実相」とは何か。あらゆる物事の真実の有様の事です。

このあらゆる物事の真実の有様を信解し生活する事が、法華経を修行する者にとって基本なのです。

まず、「十如是」を説明します。世の中のあらゆる事象には、次の十の条件が備わっています。「相・性・体・力・作・因・縁・果・報・本末究竟等」の十です。「相」とは、現れたすがた。「性」とは、その性質。「体」とは、その性質を具え実体。「力」とは、相性を具えたものの内に持っている力。「作」とは、その作用と働きで力が外に働くこと。「因」とは、直接

的原因。「縁」とは、間接的原因。「果」とは、結果。「報」とは、結果がもたらす働き。「本末究竟等」とは、相と報は等しい。最初と最後は同じであること。難解なので、図解してみます。

十如是図解



人間を含むあらゆる事象と物事には、この十如是という十の条件が関わり合っ

て存在しあっているのです。私たちの事象に沿って、「相」を望むべくものに変



寒修行の住職・檀信徒

毎度ありがとうございます  
米・肥料・農薬・たばこ  
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦  
☎ (0968) 43-2526  
無料電話 0120-23-2526  
山鹿市大宮町641-2

熊本日新聞  
(有)熊日山鹿南販売センター  
山鹿市大宮町439  
阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会  
若葉保育園  
理事長 阿蘇品 洋介

じていくには、「相」を自覚し、「性」「体」「力」「作」を自省し、「因」「縁」を大切にしていけば、必然と「果」「報」を頂戴し、体得出来るのであります。

因縁果報の言葉の如く、特に、「因」と「縁」と「果」と「報」を十二分に、生活の中で意識していく事が出来れば、「諸法実相」という、それぞれの尊い命の分

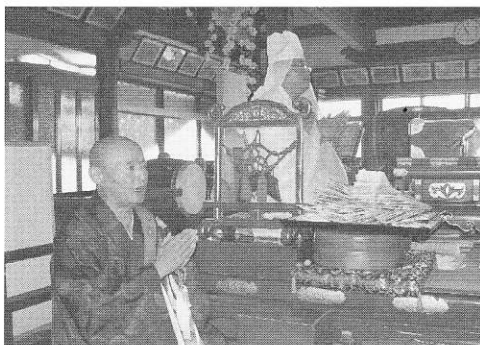


初講で祈る住職

『諸法実相鈔』  
一閻浮提第一の御本尊を信じさせ給へ。あひかまへて、あひかまへて、信心つよく候て三仏の守護をかうむらせ給ふべし。行学の二道をはげみ候べし、行学たへなば仏法はあるべからず。我もいたし人をも教化候へ。行学は信心よりをこるべく候。力あらば一文一句なりともかたらせ給ふべし

に応じた、ありのままの素直な素晴らしい本当の自分の姿が体得されるのです。

この「十如是」と「諸法実相」の真理の法門は、大変難しいものではありませんが、お題目修行によって、自然と体感出来るものでもあります。日々、共に精進してまいりましょう。



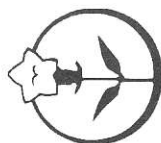
鬼子母神祭の住職と院首上人

日蓮大聖人の御文章の一節です。大意は以下のとおりです。

お題目の大曼荼羅御本尊は、世界第一の御本尊であります。この私たち人間世界に示された、第一の御本尊を信じなさい。よく気を付け、しっかりと心構えで、信心を強くして、教主釈尊と、法華経が真実の法であると証明した多宝如来、法華経を讃歎した十方分身

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉

 清流苑 鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768  
 電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)  
 ファックス (0968) 43-5153

の諸仏との、三仏の守護を受けなさい。法華経の修行と勉強との、二つの道に励みなさい。その二つの道が行われなくなつたならば、仏法は存在しなくなるのであります。だからこそ、自分自身も、この二道に励み、他人に対しても教化しなさい。行と学との二道は、信心から起るのである。自分の器量のおよぶところ、たとえ一句であつても語りなさい。

この御文章の大切なことは、法華経としてお題目という、お釈迦様がお示しになつた最高の教えを絶対の拠所として、日蓮大聖人が書き顕された御本尊を、強い信仰をもって、信じていかなければならないということです。そうすれば、実に大きな加護を仏様からい



献膳の儀・阿蘇品さん(中)

婦人会副会長 阿蘇品ケイ子

## 第四十二回信行会 大水害復興祈念と供養

ただくことができるのであります。安心して信用しなければならぬということ、  
もうひとつ大事なことは、行と学との両立が大切であることです。仏教、殊に法華経を信心するということは、その尊い教えを学ぶこ

とはもちろんですが、それを実践して、日々の暮らしの中に生かしていくことも重要なのです。行と学を偏りなく修行することが信心の基本であるとおっしゃつておられます。行と学との両立を目指して頑張つてまいりましょう。

日蓮宗熊本県青年会の主催で、第四十二回信行の会が四月十五・十六日、阿蘇地方で開催され、圓頓寺から六名参加いたしました。昨年七月の阿蘇地方を襲い、二十数名の死者・行方不明者をだした大水害復興祈念として企画され、春の

和 食 亭

# 栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌  
灯笼じょうじょう

山鹿市中1000-2  
☎44-3131

阿蘇地方の日蓮宗寺院を巡る信行の旅です。熊本市を九時に出発し、最初に妙圓寺で供養の読経をいたしました。有名な一心行の大桜はもう花は無く、葉桜になっていました。白川水源、妙宣寺と訪ねました。

今日の宿泊は阿蘇市のホテル角萬です。休憩・入浴



日蓮宗熊本県青年会 第42回信行の会 於阿蘇 H25年4月15～16日

後の懇親会でカラオケ、じゃんけん大会などが行われ、いろいろと用意された賞品がいただけました。私は最後にありがたい品をいただきました。宴の終わりにはお上人様方と私たち参加者の全員で輪を作り、肩を組んで合唱して楽しく終わりました。

翌十六日は、多数の犠牲者が出た阿蘇市坂梨、手野地区に行きました。お上人様方は横一列に二十名の方が並び、私たちは後ろに並びました。お上人様方が白菊を供えられ、私たちも菊を一本ずついただきました。お供えしてお経を唱え、南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経とお題目を、心をこめて唱え供養いたしました。回りは外輪山と呼ばれる大きな山です。亡くなられた方々

の『ありがとう』の声が聞こえたような気がしました。周囲には、大きな倒木、岩石がゴロゴロと横たわっています。

その後、浄信寺にお参りし、阿蘇神社を散策しました。二日間天候に恵まれた、大水害復興祈念と供養の信

## 初講・仏様の功德をいただく

鹿児島市 芝田 宏之



初講で祈る芝田さん夫妻

行の会が終わりました。日蓮宗熊本県青年会の皆様本当にありがとうございました。お世話になりました。

信行会の会長様から、

「参加していただいてありがとうございます。と御札の手紙をいただきました。

南無妙法蓮華経

新春の一月十三日、当山初めての法要である初講法要が、大勢の檀信徒が参詣され、本堂にて行われました。境内や本堂などアチコチで新年の挨拶が交わされる、毎年の風景から初講は始まりました。

初講法要に先立ち法話を、菊池市・妙蓮寺「堀尾大悟」副住職よりいただきました。日蓮大聖人の祖訓『妙法尼



堀尾上人の法話

『妙法尼御前御返事』を拝読され、御前御返事』を拝読され、く、夫れ以れば日蓮幼少の時より仏法を学び候いしが、念願すらく、人の寿命は無常なり。出づる気は入る氣を待つ事なし。風の前の露尚お譬えにあらず。賢きも愚きも、老いたるも若きも、定め無き習也。さらば先ず臨終の事を習うて後に他事習うべし。』と唱えられ、お題目三唱の後、小学五年生の時、八歳年上の仲がとても良かった従姉の「しんや君」が、友人の結婚式の打合せをするため車で外出して、交通事故に遭い、突

然亡くなられ、とても悲しく無氣力になってしまったことを話されました。しかしお題目『南無妙法蓮華經』を唱えていくと安心が得られたこと、ありがたいお題目を唱えることで苦しみを受け止める強い心になったこと。幼いころはお寺の行事や話が嫌で、苦手だったこと、辛い悲しい縁、親しい人との別れを経験し、菩提心（悟りを求める心）が生まれ、信仰することが喜びに変わっていったことを語っていただきました。

堀尾上人のお話をお聞きしながら、自分はやんと生きていくのかな？ 臨終の事を習うとはそういうことかな？ と思ってみたり、でもおいしいものは食べたし、ビールも飲みたいし、お金もいっぱい欲しいし、



故・日淳（恵海）上人の七回忌法要で焼香する前坊守様

綺麗な女の人がいたら目が向くし、怒ったり、悲しんだり、まだまだ全然なつたらん、と思つてしまいました。ただ、日蓮大聖人が授けて下さったお題目を唱え続けていると心がすつとし、心身に仏様の功德をいただいた気になります。

休憩後、日蓮大聖人の初命日法要である初講法要が、

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483  
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968)43-2087

英人上人を導師に六名のお上人様のご出仕で行われ、私もお勤めをさせて頂いた頂きました。法要中、恒例の総代さんらによる一字一石写経、婦人会代表三名によるお祖師様、清正公さん、鬼子母神様への献膳の儀も行われました。また、三十二世「故日淳」上人の七回忌法要も営まれ、全参詣者で焼香をいたしました。法要が終わり英人上人か



## 感動！寒修行 高校生がご苦勞様です

暖冬と予想された長期天気予報が修正され、一月二十日大寒に入り寒さが厳しい二十三日、都合がつきましたので寒修行に参加し、住職、総代、信行会、婦人

ら、「信心する心が大切である。」とのお話があり、私も、『今年も信心に励むぞ！』と心に誓いました。檀信徒会館では、おいしいうとき本膳をご馳走になり、特別回向の祈祷札をいただき、とてもいい気分です。圓頓寺様を後にしました。日蓮大聖人様への感謝と、圓頓寺様の隆盛を心よりお祈りしました。

南無妙法蓮華經

会などの方々と団扇太鼓をたたき、「南無妙法蓮華經……」と南無妙法蓮華經……とお題目を唱えながら夜の街を修行して回りました。本日のコースは通称「熊入コ



住職を先頭に寒修行

「ス」です。午後七時前お寺に着いたら既に十数名の方が、防寒ばつちりに準備しておられました。あわてて本堂に上がり団扇太鼓とバチをとり、行衣を持ちませんのでハッピをはおり、寒修行団の一員と成りました。午後七時ちようどに住職が本堂前で、お祖師様に出立の祈りを捧げ、参加者も続いて唱和し

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街  
☎(0968)43-2282

お食事処



HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435



まず、サー出発です。総代さんが先導し、住職、参加者が続き、恵人君もお母さんが持つ団扇太鼓を小さなバチでたたいたり、行衣の裾をしつかりつかんで歩き、一人前？の修行者です。



幼き寒修行者

山門を出て右折、花見坂を上り十字路を左折、山鹿郵便局向かい側の歩道を直進、熊本ファミリー銀行前十字路で信号待ち、歩行者用信号が青になり出発。堀

明町・東通町を通り、吉田川の緑町橋を越えれば熊入町です。熊入町に入つてすぐ右折、ここからは歩道が無く狭い道を歩きます。後ろから車の明かりが近づいてきます。タクシーがスピードを落とし用心しながら横道を通り過ぎました。家の玄関が開き、小学四・五年生位の男の子が顔を出し、しばらく見ていました。が珍しいのか、百メートルほど付いてきました。



浄財をいただく

お布施を中原総代さんに渡し、中原総代さんは寒修行のお札を授与されました。東通町のお檀家さんは、団扇太鼓の音が聞こえたので出てきたが既に行きすぎていた。団扇太鼓の音を頼りに八幡小学校まで追いかけたが分からず、自宅に帰っていたところで寒修行団と会うことが出来た。と話してお布施を託されました。

この日の寒修行で感動したのは、熊入町を修行中、自転車に乗った男子鹿本高校生が、『ご苦労さまです』と言葉をかけて通りすぎたことです。

熊入町を巡回して、東通町・明治町・桜町・上広町を歩き、山門をくぐり、院首上人や留守番の方々の出迎えを受け、本堂前で帰るの感謝の祈りを捧げ、寒修

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館  
やすらぎの里



天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

行の服装を解きました。

檀信徒会館で、留守番の  
婦人会会員の方が準備され  
たお茶、参加者の差し入れ  
や坊守様・子供さん手造り  
のお菓子などの接待を受け、  
しばらく談笑して、住職よ  
り明日の寒修行コースの発  
表があり、お題目三唱で本  
日の寒修行が終わりました。

合掌 (編集委員・谷)

# お題目を糧に日々精進

山鹿市昭和町 鹿子木リツ子



寒修行の鹿子木さん(左)



圓頓寺の枝垂れ桜の花も満開に咲き誇る三月二十八日、鬼子母神大祭・彼岸会法要が行われ、子供たちの発育成就、運命長久、家内安全を祈願していただけるありがたい日です。  
あちらこちらには、はしゃぎ回っている子供たちの姿

を見て、何と微笑ましい光景でしょう。私も幼いころの長男と長女を鬼子母神様にお守していただいております。その頃の子供たちの事をふと思い出し、懐かしさが蘇って参りました。長男が五・六歳のころだったと思います。英知上人様が唱えられていらつしやる『南無妙法蓮華経』を真似して、近所の子供たちと自転車によく遊んでいたものでした。  
本日の法話をいただきますお上人様は、熊本市・本妙寺塔中仙乗院『三坂恵豊』住職様です。三坂上人様は、今回壱百日大荒行第参行を成満なされ、大荒行の過程を詳しくお話いただきました。零下五度という厳しい寒さの中水行一日七回、荒むしろに正座しての読経一

# アシスト

株式会社 アシスト ニッセイ同和損保(株)・日本生命・大同生命(株) 代理店

〒862-0963 熊本市南区出仲間9丁目5-10.4F Tel.096-214-4771  
Fax.096-214-4773 携帯090-2715-2274 <http://www.assist-kumamoto.jp>

日四回という行を成満なされたお上人様方々に、私はすこぶる思いがいたしました。中でも記事を書いている今でも心に残っていることは、東日本震災で亡くなられた方々の供養を目的に行された宮城県の加藤上人様。五十二歳という年齢で二十五年ぶりの第参行を成満なされ、『南無妙法蓮華經』と書かれた散華に読経し、海にまかれ亡くなられた多くの魂を慰められたお話等、本当に法華經の素晴らしさに感銘させられました。



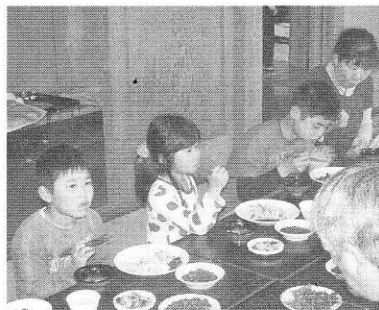
三坂上人の法話

休憩後、英人上人を導師に彼岸会先祖供養法要が行われ、恒例の水行が英人上人様、三坂上人様、福山上人様、秋吉上人様により行われ、迫力ある水行肝文で



鬼子母神大祭に参加の子どもたち

気合の入った水行式に、私は只々ありがたい一心でお題目を唱えさせていただきました。その後、鬼子母神様の前で英人上人ら三名のお上人



鬼子母神大祭に参加の子どもたち

**印刷 盛文社 有限会社**

山鹿市下町1807  
TEL 0968-43-2604  
FAX 0968-43-6075

**生活環境に、やさしい企業**

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968) 43-2212 FAX(0968) 44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

様により、子供たちの發育成就、運命長久を願う法樂祈禱が行われました。このかけがえのない尊い

# 大黒様に感謝！感謝！

山鹿市鹿本町来民 堤 理恵



住職賞・堤さん

「もう当たらんネー。帰ろーっと」と思い帰る準備をし、靴を履き帰ろうとした。しかし何となくの胸騒ぎ。『次は圓頓寺住職

お題目を信じ、お題目を糧にして日々精進努力させていただく所存でございます。南無妙法蓮華經

賞です。五のつく方…」え？五のつく方？私七十五番！もしかしてー！『圓頓寺住職賞。七十五番の方』おお！当たった。私たい。なんと本当に当たったのです。

大黒様とは、七福神の神様のお一人で、米俵に乗っかり、肩には大きな袋を担いでいらつしやる神様。という。この大黒様、五月三日に炊飯器にまたがり、米を担いで我が家に来られた。この日は、主人の誕生日で結婚記念日でもありました。そこにこの大黒様。感謝・

感謝です。

姑が入院中のため、代わり立教開宗会・大黒尊天祭に参加しました。そういえば、姑はクジ運があまりよくありませんでした。「わたしやなーん当たらん。あたはクジ運の良かけん、あたら当たるとるばい」と毎年言っていたように思います。早速姑に報告に行きました。心から喜んでくれました。思いもよらぬ大当たり、大黒様にはもちろん、ありとあらゆる神様、仏様に御礼を言っ、はしゃいだ一日でした。

とても不思議に思う。よくぞ当たったなあー。これは、やはり奇跡なのかなあー。何でもない普通の生活を毎日過ごすことができる。実は、これが一番の幸せな奇跡だと思えますし、七十五



拝む心で尊い品を

## 梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具  
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9  
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4  
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail [umetani@umetani-jp.com](mailto:umetani@umetani-jp.com)

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>

番が当たったのはおまけの幸せの奇跡なんだろう。最後にになりましたが、役員の方々、婦人会の方々、当番地区の方々、本当にお世話になりました。手作り

# 圓頓寺様と私

山鹿市鹿本町来民 守江 郁



婦人会長賞・守江さん

今年、八十五歳になる私にとつて圓頓寺の一番古い記憶はまだ幼稚園にも行か

のおときを大変美味しくいただきました。ご馳走さまでした。関係者の皆様から御礼申し上げます。ありがとうございました。

合掌

ない幼いころ、母のお参りに付いて行き、お参りもそこそこに子供だけは、「清滝温泉」にいき、お寺さんのお接待で「子供御膳」を食べた楽しい思い出です。

我が家は、兄姉を次々と亡くしているの、母が泣きながら御祈禱を受けていた事も微かに記憶にありますが、本能的に悲しい記憶は遠ざけているように思えます。

四十六歳で主人を亡くした時も、圓頓寺様にお世話

になりました。途方に暮れる中、住職様のお支えを受けながらどうか無事、見送ることが出来ました。

無我夢中の数年を過ぎ、再び「お寺さん」と親しく呼び合い、度々お参りさせていただくようになったのは、友人今は亡き福山さんのお蔭です。娘からの電話で、「圓頓寺ホームページ」に二人で団扇太鼓をたたきながらお題目を唱える写真が、何枚も紹介されている事を知りました。福山さんがいなくなったら、謙虚な気持ちで無心に手を合わせる、今の私はいなかったかもしれせん。

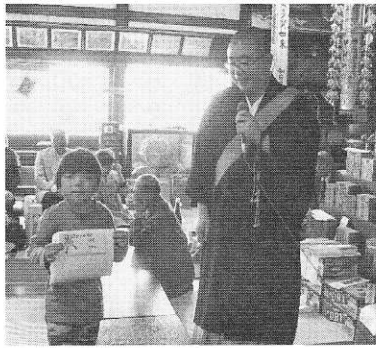
亡き母が「とうとう一度も行かれないだった・・・行きたかった」と生前残念そうに話していた、総本山・身延山に二人して二度

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3



子供福引特別賞・村上くん

(五歳、母親代筆)

山鹿市鹿本町 村上 こうう

# 子供福引・大喜び

も行き、今まで知らなかった勉強も出来、「日蓮宗」の教えが身近なものに感じられるようになりました。今回、大黒尊天祭で婦人会長賞に当選し、圓頓寺たよりに一文を載せることになり、「困ったな」文章書けるかしら」と思いましたが、福山さんがもう一度

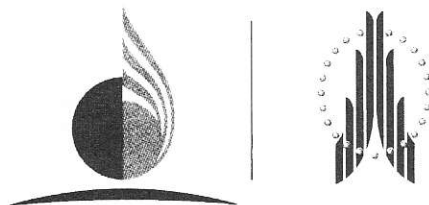
お寺さんの事を考える機会を与えてくれたのかも知れません。その日頂いた鉢植えの「あじさい、ナンキョラス」は今も玄関で私を出迎え、元気付けてくれます。亡き親族、亡き友人があらで今の私を見てくれていると思います。 合掌

新茶の香るこの季節、立教開宗会・大黒尊天祭には毎年お参りさせて頂いていただいています。午前中、団扇太鼓を一生懸命たたきながらお参りしていた子供は、「ジャンケン大会は、まだかなあ？」と楽しみにしていました。 除災招福の神様に祈願し、災いを取り除いていただき、



行衣を受ける阿蘇品さん、鹿子木さん

福を招きいれていたいただいたおかげで、見事にジャンケン大会で勝つ事が出来て、「勝ったあ、勝ったあ」と、大変喜んでおりました。 三月の鬼子母神大祭と、五月の立教開宗会・大黒尊天祭には、必ずお参りしています。昨年十一月には、子供たちの七五三があり、圓頓寺本堂にて祈願していただき、本当に良い経験をさせていただきました。



立正安国・お題目結縁運動  
いのちに合掌

今年の年の瀬には、一年間の厄を払い、新たな一年の福を願いながら、除夜の鐘をつき、新年祝祷会の祈禱を受けたいと、子供と一緒に参詣したいと思っております。

\*子供がまだ作文を書けませんで、代わりに書かせていただきました。本当にありがとうございます。(母)

**福引特別賞提供者**

(順不同、敬称略です)  
圓頓寺住職、同(子供特別賞)、福岡・妙教寺、甘木・大安寺、唐津・龍王寺、妙教寺執事・高野上人、圓頓寺本総代会、圓頓寺婦人会、圓頓寺信行会、染と織おにき、井上組、熊日新聞南販

売店、栗原辰也、中原電機、原文雄、とらや商会、妙教寺・松尾上人、妙教寺・白井総代、和田純夫、ワールド観光、阿蘇品組、松下仏壇店、盛文社印刷、日産プ

**総本山・身延山久遠寺**

信行会会長・木下美枝子



私は日蓮宗の総本山・山梨の身延山久遠寺に、年に一度、樹齢四〇〇年を超える身延の枝垂れ桜の花が綺麗なときを見計らって、お

リンス山鹿店、履物の銀鳥、朝日新聞山鹿店、熊本第一信用金庫山鹿支店、(株)国富興商、井沢保険事務所、天寿苑、宮川葬祭、上田常人

詣りいたします。

まだまだ信仰心も浅い頃、お寺の団参で二〜三回行った時(団参は九月か十月)、大きな枝垂れ桜が一杯あるなアと思っていました。主人は退職してからお寺に行く様になり、何かとお手伝いも出来る、何か事あるごとにも身延に行く機会もあり、七〜八回お詣りしましたが、桜は一度も見えていない状態でした。じゃあ桜の時期にお詣り行こうという事で、当時、寝台列車で夕方熊本



郷土に生まれて味ひとすじ



仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739  
仕出部 ☎ 44-5804

駅を出発、途中乗り換えはあったものの明朝十時頃には身延に着くという行程で出かけました。



身延山久遠寺の枝垂れ桜

私共夫婦は全く性格が違って、主人は五時の汽車に乗るために三時に家を出るといふ。私はブツブツ言いながら同行。駅に四時前に着いて一時間余の時を待って余す等々、一事が万事気持の行き違いで、四六時

中口ゲンカしながら行った身延も、桜の花が四々五分咲きで、とても綺麗で、二人して感歎の声をあげました。

総受付の報恩閣で、明朝おつとめをしていただく、祈願、回向申込みをしておきます（もちろん早朝のおつとめの時は同席します）。まずは大本堂に行きお詣りします。次に、隣の祖師堂で日蓮大聖人のお顔を拝し、手を合わせると涙があふれ、ひれ伏して頭を上げられませんか。何でしょう。身延のお祖師様だけです。心の中まで見通されます。

日蓮大聖人が毎日登られ、故郷千葉県小湊のご両親を偲ばれた山、奥の院思親閣まで、ロープウェイで登詣いたします。何故か身延は空気全体が違う。流れる風

が違う気がします。山には日蓮大聖人お手植えの、一人では手を回し足らない大きな杉の木が何本もありました。昨年は三月三十日に行きました。雪を片脇に寄せてありましたが、当然桜は一輪もありませんでしたが、熊本の桜は満開だったのにと、何を基準に判断したらよいのか分かりません。

思親閣を下り西の方へ行く。と御廟所（墓地）があります。『いづくにて死に候とも、墓をば身延の沢にせさせ候べく候』と、御遺書に従って建てられたお墓です。また左右に歴代のお墓、この身延の地を日蓮大聖人に献上くださった南部実長公のお墓、また同時代お聖人を慕い奉仕した信者の面々のお墓もごさいます。御廟所を少し下り左手に、

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上宮通り  
☎0944-56-3675

熊本店

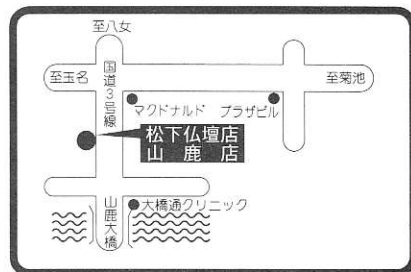
熊本市中央区上水前寺1-12  
-12 (東バイパス熊工前)  
☎096-384-5666

玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口  
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404  
☎0968-43-5665



株式会社 松下仏壇店



日蓮大聖人が身延に入られ九ヶ年、御隠棲された跡地が玉垣で囲ってあります。杉の太木等でうっそうとした川端で、今でもうす暗くジメツとした処に、粗末であつたであろう小屋で起居され、法華経の読誦、弟子の教育で食べ物も満足になく、寒の厳しい中を過ごされたかと思うと、胸がつまります。命がけで残し伝えて下さった法華経、分かっているつもりでも、感謝の心を忘れがちです。

主人が生前、最後の年に身延に私を連れて行き、真剣に信仰に対する目を開かせてくれたと思つています。導かれて信仰するようになつた私ですが、近年は身延の日蓮大聖人にお逢いし見つめられるとメロメロ。一年の苦勞を全部引き受けて下

さり、新しい生きる力を与えて下さいます。ありがた  
いお題目を口に、また来年  
身延の日蓮大聖人に逢いに  
行くことを楽しみに一年を  
過ごします。

総本山・身延山久遠寺。  
一度は是非お詣りをお

質問箱 (その七)

入院していたお父さんが  
亡くなつたお檀家Qさん。  
どうしたらいいか分からず、  
住職に相談しています。

Qさん

入院していた父が亡くな  
りましたが、どうしたらい  
いでしうか。

住職

よく看病されていました  
が亡くなられましたか。お  
悔やみ申し上げます どう

すすめいたします。何か  
違ふのです。また再度お詣  
りしたくなる処です。法華  
経を信仰する者なら命がけ  
で伝えて下さつた日蓮大聖  
人に感謝のお墓まいりをす  
るのは、当たり前ではない  
でしょうか?!  
合掌

していいか分からないと思  
いますが、まず葬儀社に連  
絡してください。病院に來  
てくれるでしょう。

Qさん

知り合ひの葬儀社に電話  
してみます。

住職

葬儀社の人が、ご家族と  
共にご遺体を家に連れて帰  
り、北を枕に安置するなど  
してくれと思います。も

この街と生きていく  
face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

ちろんご家族がすることも  
ございます。家に帰られた  
らご連絡下さい。すぐ枕経  
に伺います。

**Qさん**

枕経とは何でしょうか

**住職**

枕経は臨終経ともいい、  
ご遺体の枕元で僧侶が読経  
することです。枕経の目的  
は生前の罪障を消滅し、霊  
山浄土での成仏を祈ること  
にあります。

**Qさん**

枕経という言葉は知って  
いましたが、そういう意味  
があるんですね。何も分か  
りませんのでよろしくお願  
いします。家に帰り着いた  
らすぐ連絡いたします。

**Qさん**

今家に帰り着きました。  
夜ですがいいでしょうか。

**住職**

夜でも伺い、心をこめて  
おつとめいたします。今か  
ら参ります。

**Qさん**

お上人様、夜遅くすみま  
せん。ありがとうございます

す。お上人様が言われたと  
おり、葬儀社の人が病院ま  
で来ていただきました。

**住職**

これから葬儀社の人が、  
しきたりに従ってしてくれ  
るでしょう。

**Qさん**

亡くなったら斎場で、通  
夜・葬儀だけと思っていま  
したが、しきたりがあるの  
ですか。

**住職**

はいございます。葬儀の  
手順は、ご遺体を棺に納め  
る準備と納棺、納棺後の通

夜・葬儀・告別式に大別で  
きます。まず納棺に先だつ  
て、末期の水でご遺体の唇

を潤します。

**Qさん**

末期の水で、何ですか。

**住職**

末期の水は、お釈迦様が  
亡くなられる寸前に水を欲  
したという故事から、亡く  
なる直前、臨終間際に水を  
つけるようになりました。

それが最近では臨終間際ま  
で加療していることが多い  
ですから、今では息を引き  
取った後に行うようになり  
ました。

**Qさん**

末期の水で、どうするの  
ですか。

**住職**

末期の水は、新しい筆か  
割りばしの先に脱脂綿かガー  
ゼを巻き、白糸で結いたも



宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948

山鹿  
天龍会館

TEL (0968) 44-0444

のに水を含ませ、軽くご遺体の唇を潤します。この儀式は血のつながりの濃い順に行います。

Qさん

末期の水のいわれと、しかたは分かりました。次はどうするのでしょうか

住職

末期の水の次は、ご遺体を清めます。

Qさん

どのようにして清めるのでしょうか。

住職

ご遺体をぬるま湯やアルコールで清めます。これは死後の世界へ清らかな状態で旅立たせたいという気持ちと、故人に直接接してあげる最後の奉仕として行ないます。

Qさん

ぬるま湯かアルコールで

清めるんですね。

住職

ぬるま湯は、縁起をかつぐ意味から、水に熱湯を加えてつくる「逆さ水」、湯に用いるひしゃくを左手に持つ「左びしゃく」などの風習は、この日限りであることを願う気持ちから行われます。

Qさん

逆さ水、左びしゃくという言葉は始めて聞きました。

住職

この儀式を「湯かん」と言います。湯かんが終わったら、故人が生前愛用していた服などを着せます。次に、体内の水分や汚物が出てこないように、耳、鼻、口などに脱脂綿を詰めます。そして男性ならひげを剃り、女性には薄化粧をします。

Qさん

父が生前よく着ていた服を探してきます。

住職

そして経帷子としての行衣を今生の修行の証として着せてあげて下さい。

(つづく)

全国日蓮宗青年会監修  
「日蓮宗のしきたりと心得」参照

※質問箱は平成十年から六回連載しましたが、当時特集がいくつか続き、ページの都合等で休載いたしました。今回の編集会議の際、『枕経を知らない人がいる』という意見が出て話し合い、質問箱を復活させて、編集委員・檀信徒の方が分からないことを募集し、住職(編集委員)に回答してもらうことにしました。



お題目から、  
はじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します  
住宅金融公庫その他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範

# お寺の行事

土用丑の日

七月二十二日午前十時

## お盆お施餓鬼法要

○当山では例年の通り、七月二十二日（月）に、ほうろく灸祈禱会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。

○特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久平和実現を祈る法要ですの

で、お家族そろって御参詣ください。

○五十回忌供養・お盆・先祖供養・初盆 供養の塔婆供養御希望の方は、早めにお申込み下さい。

一、施餓鬼三尺塔婆供養 二、〇〇〇円

一、特別六尺塔婆供養 五、〇〇〇円

○記念法話（午前十時）

○ほうろく灸祈禱は、九時三十分と十二時にいたします。

十月十三日（日）

午前十時

## 御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡くなりになった日で、大聖人の偉大なご生涯をたたえ、しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとって一番大切な法要です。

御会式には御会式桜を奉納しますが、これは、大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が咲いたという故事にちなんでおり、全国のお寺で行われています。

十二月八日（日）

午前十時

## 荒神大祭

### お焚きあげ会

○一年間御護りいただいた三宝荒神（地・水・火）への感謝の法会。御先祖へ一年間の報恩感謝の供養をささげる日。

十二月

## 合同大掃除

護持会、婦人会、信行会、地区世話人、墓地所有者  
檀信徒合同奉仕

発行所

山鹿城趾  
湯の町七丁目

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七七八二八

電子メール:a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ:www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール:info-seibunsa@hyper.ocn.ne.jp